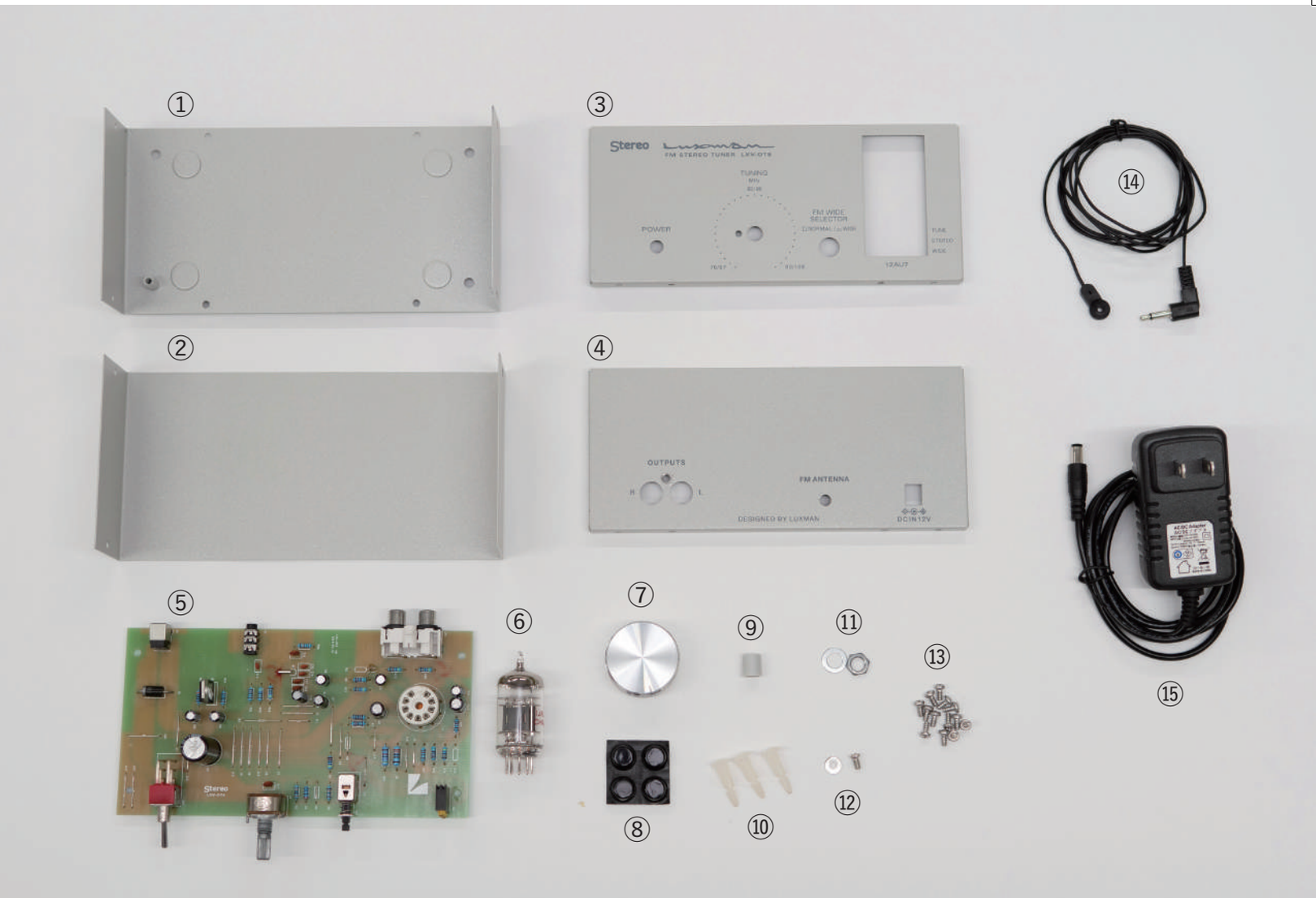


真空管FMチューナー・キットを組み立てる

前回同様、キットとはいえ、基本的にネジとナットをとめる作業のみなので、順を追って慎重に作れば、誰でも必ず作れるはずだ。本キットの要、プラスドライバーはしっかりしたものを選ぼう。

内容物

①シャーシ（底板）
②シャーシ（天板）
③シャーシ（フロントパネル）
④シャーシ（リアパネル）
⑤完成基板
⑥真空管（12AU7）
⑦チューニングダイアル用つまみ
⑧ゴム脚
⑨スイッチノブ
⑩基板固定用リベット（3個）
⑪チューニングダイアルつまみとシャーシを固定するネジセット（ナット、ワッシャー）
⑫基板上アース用ねじ、ワッシャー
⑬シャーシ及び、端子類固定ネジ（13本）
⑭アンテナ線
⑮ACアダプター

必要なもの

プラスドライバー
（本キットはタッピングなので、刃先がしっかりし、力を入れやすいドライバーをご用意ください。）
ラジオペンチ

※弊社での組立サービスなどは一切行なっておりません。必ず自身で完成させてください。不良品などの交換は、購入から1年とさせていただきます。（購入日が記載された領収書、レシートの保管をお願いします。）ご購入後、お早目のご確認をお願いします。

組み立てる前に必ずお読み下さい。

安全上のご注意
（真空管キットLXV-OT8、付属ACアダプター）

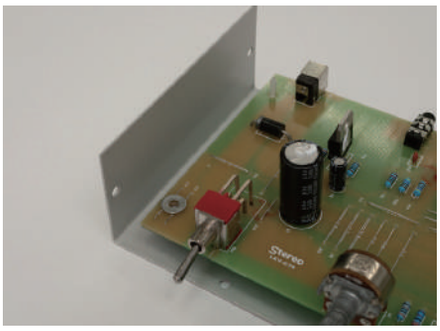
●付属ACアダプターは日本国内専用です。日本国内以外では使用しないでください。●組立が終わるまでは、絶対にACアダプターを接続しないでください。●キット添付以外の部品は、ご使用にならないでください。●必ずケースに入れた状態でご使用ください。ケースなしでのご使用は、事故や感電の危険があります。また、お子様の手に触れないようご注意ください。●真空管は使用中に高温になります。誤って手を触れるとやけどの危険があります。また水滴等の液体がかかると破損する恐れがあります。●組み立てられたキットに対する保証はありません。●付属ACアダプターは本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、付属のACアダプター以外は使用しないでください。●本機DC IN端子へのプラグ抜き差しは、必ず電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いた状態で行なってください。●外出時や長期間ご使用にならない場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

◉警告
ACアダプター

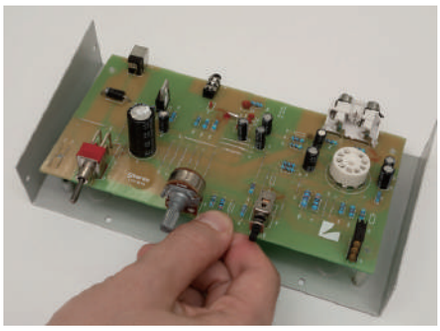
●本機の電源スイッチを切っても、電源からは完全に遮断されません。そのため、電源コンセントの近くに設置し、容易にACアダプターの電源プラグを抜くことができるようにしてください。●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常のあった場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

キットの取扱について

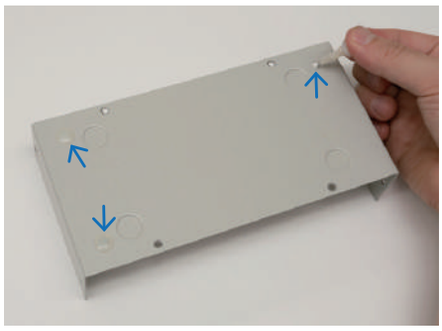
お客様御自身がこのキットを制作され使用する場合の、部品選定や構造については、お客様が組み立てられても性能を満足するように考慮しています。組み立て上の注意をよく確認して安全な製品を製作されるよう、お願いいたします。



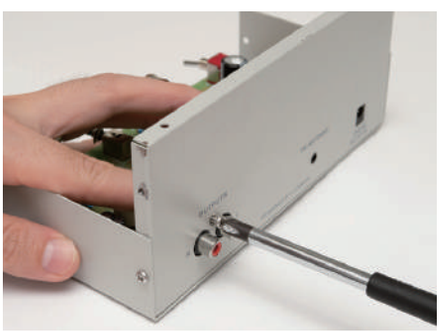
3 完成基板⑤の正面左側の穴に、アース用のワッシャー⑫を置く



2 シャーシ底板①と完成基板⑤を差し込んで固定する

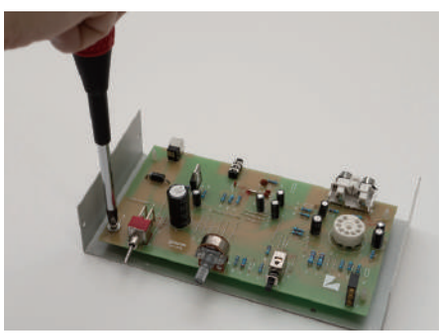


1 シャーシ底板①の下から、基板固定用リベット⑩を3か所、奥まで差し込む



6 RCA端子をシャーシ内側から手で押さえながら、ネジ⑬で固定する

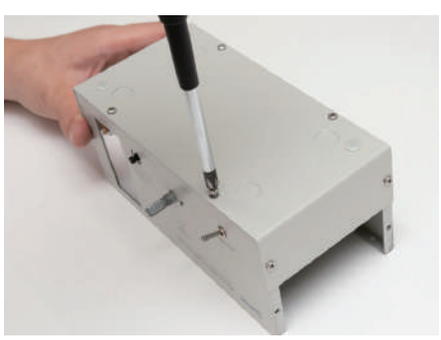
5 フロントパネル③、リアパネル④の両脇をネジ⑬で仮締めする



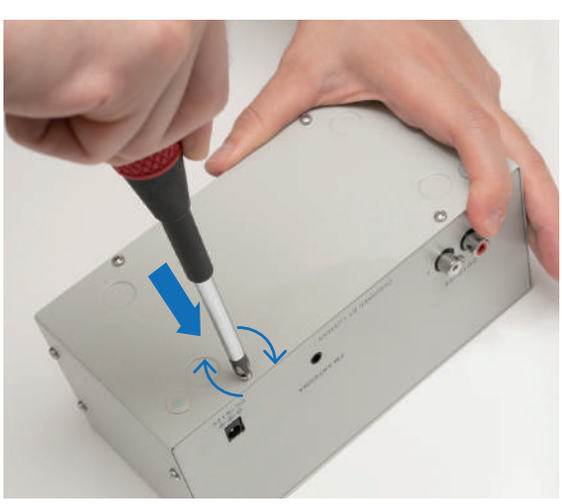
4 完成基板⑤の正面左側の、アース用のワッシャーを通して⑫をネジ止めする

9 チューニングダイアル用つまみ⑦を向きを合わせて差し込む

8 フロントパネルから出たチューニングつまみにワッシャー、ナット⑪の順に入れ、ラジオペンチで固定する



7 シャーシ底板とフロント、リアのネジ4か所もネジ⑬で仮締めする



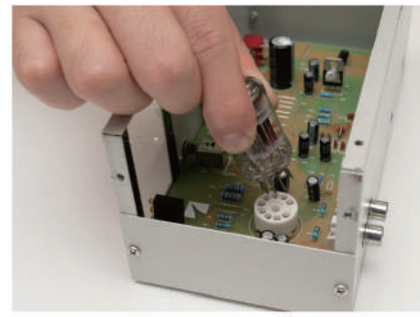
●タッピングネジの締め方

本キットは、ネジでシャーシに溝を切っていくタッピングネジを採用しています。最初はネジの進行方向に力を加えながらじっくりと回して締めてください。100円ショップなどのドライバーでは、刃先、ねじ山が潰れる可能性があります。ホームセンターなどで、しっかりしたドライバーを選んでください。

10 フロントパネル、FM ワイドセレクタスイッチに、スイッチノブ⑨を角度を確認しながら押し込む

13 シャーシ底板の窪みに合わせて、ゴム脚⑧を4か所貼っていく

12 シャーシ天板②を4か所ネジ⑬で仮締めする



11 真空管⑥の足（下側の端子部分）がソケットの穴に合う部分で、左右に少しずつ振りながら慎重に差し込む

16 リアにACアダプターを差し込む

15 リアにアンテナ線⑭を差し込む

14 すべてのネジを本締めしたら完成

◎LXV-OT8 主な仕様

LXV-OT8本体

〈オーディオ部〉
・出力電圧（100%変調、1kHz）：0.9V
〈チューナー部〉
・FM受信周波数範囲
ノーマル：76.0 ～ 90.0MHz
ワイド：87.0 ～ 108.0MHz
（FM補完放送とは76.1～94.9MHzによりAM放送の放送番組を放送するものです。）
・50dB S/N感度（IHF-A、100%変調、1kHz）：MONO8μV
・S/N比(IHF-A) MONO/STEREO：70dB/65dB
・ステレオセパレーション（100%変調、1kHz）：43dB
・周波数特性（30Hz～15kHz）：-3.5dB
〈総合〉
・電源電圧：DC12V
・消費電力（ACアダプタ含む）：3W
・寸法（幅×高さ×奥行き）：
180×86×118mm（脚部、突起物を含む）
・質量：620g

付属品

・ACアダプタ（BYX-1201000J）：
AC100-240V 50/60Hz 出力:DC 12V1A
定格電流：0.3A Max
アンテナ線（ミニプラグ付き）

付属回路

・チューニング・インジケーター
・ステレオ・インジケーター
・ノーマル / ワイド 切り替えスイッチ
・ワイドFM・インジケーター

操作する前に

電源オン／オフは、アンプ側のボリューム・コントロールを最小にしてから行なってください。

LXV-OT8の設置と取扱について

■設置のご注意

●窓際など、できるだけ電波の入りやすい場所に設置してください。
●アンテナ線は、他の機器の電源コードおよび入出力などのコードから離して設置してください。

■付属アンテナの設置方法

●放送を受信し、音を聞きながらひずみや雑音の少ない位置や向きを探して、アンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。
※電波の強さは、都市部か山間部か、木造か鉄筋か、部屋の場所や人の移動でも変化します。

■その他のアンテナの使用について

●設置した部屋にFM放送対応のアンテナコンセントがある場合は、本機のアンテナ端子（3.5mmミニジャック）に、市販の変換アダプター（3.5mmミニプラグ−F型接栓変換アダプターや変換コードなど）を使用して、同軸ケーブルで接続してください。
●付属のアンテナで放送がきれいに受信できないときは、受信地域の電界強度（電波の強さ）にあった、市販のFMアンテナを設置してください。
※FMアンテナについては、屋内用、屋外用とも、設置方法を含めてお近くの家電販売店や音響機器の販売店にご相談ください。

■故障かな?と思ったら

ご使用中に本機が正常に受信できなくなった場合は、下記の点をご確認ください。

●雑音が入ることがある（とくに電波が弱い地域）

自動車やバイク、サーモスタット付き電気器具、パソコンなどの電子機器から出る雑音を拾っている。
→アンテナは道路から離れた場所に設置してください。
→雑音を出している電気機器はアンテナから離す、使用していないときは電源を切るなどを行なってください。

●STEREOインジケーターが点滅し、雑音が入る。

正しく選局されていない場合は、もう一度TUNINGつまみで良い状態に合わせなおしてください。
アンテナがしっかり接続されていない、または電波が弱い。
→アンテナの接続を確認してください。
→受信地域の電界強度にあったアンテナを設置してください。

●音が歪むなど受信状態が悪い。

マルチパス（多重反射）や強電界などの電波妨害を受けている。
→アンテナの高さや向き、設置場所を変えてください。

放送を受信し、音を聞きながらひずみや雑音の少ない位置や向きを探して、アンテナの先端をテープや押しピンなどで固定する

変換アダプター
DXアンテナ 中継プラグ F形-φ3.5ミニプラグ DM-77N-B2

屋外用FMアンテナ
日本アンテナ FMアンテナ
水平受信用 強電界向け
小型普及型 4素子 AF-4

お住まいの地域で受信できる放送局、周波数は総務省ホームページ全国民放FM局・ワイドFM局一覧をご参照ください。
http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/fm-list.html
NHK-FM周波数一覧　https://www.nhk.or.jp/radio/info/frequency.html?ch=f
コミュニティFM放送局一覧　https://www.jcba.jp/map/